

2013/09/04

## 充電式ミニソーラーカーの工作教室反省会報告書

- ◆開催日時 2013年9月3日(火) 13:30~16:00
- ◆場所 ヒストリア宇部
- ◆出席者  
講師：溝田忠人 欠席(松重泰夫)  
指導員：上田純二、潮村浩三郎、饒村千春、田中護、平泉恵子 欠席(近藤幸海)  
事務局：仰木則康、木原裕子、松井民男

### ◆内容

1. セブン・イレブン記念財団による工作教室について(仰木)  
アンケート解析結果(松井)
2. 反省会における意見交換のまとめ  
各人の感想を聞きながら、意見の交換をおこなった。(以下項目別に列記)
  - 会場
    - ・今回の会場の宇部市勤労青少年会館の作業室は30名が限界
    - ・机の配置により講義中生徒の一部がうしろ後向きになった。
    - ・荷物の置き場所がない。
    - ・保護者が沢山見学されていたのでよけい狭かった。
  - 実施日
    - ・土日はスケジュールが重なる可能性大、夏休みは平日のほうがよい。
    - ・今回実施した火曜日は適当だった。
  - 指導員講習会
    - ・プラダンの加工等キットから自分で作って組み立てるまで行ったのは良かった。
    - ・1回では不十分で、何回か行えばもっとよかった。
  - 募集・広報
    - ・夏休みは他の子供向けイベントも多く情報が錯綜し工作教室があることを見逃がす。
    - ・どのイベントでも事前登録しても欠席者は必ずいる。当日欠席者の補填は難しい。
  - 指導員の人数
    - ・生徒4人に指導者1人以上が適当。
  - 子どもへの指導
    - ・指導員講習会で自分が事前に作ったものが、本番で見本になり助けになった。
    - ・プロジェクターを使って作り方を教えるとよかった。
    - ・キットの部品ごとに番号をうてばわかりやすい。
    - ・安全のため作業台には無駄なものを置かないほうがよい。
    - ・材料を入れるトレイは整頓に役立つのでよい。(今後実施時には準備)
    - ・子どもは、保護者が会場にいないほうが工作に意識が集中する。
    - ・組み立てだけより、キット作りからの方がよいが、刃物の使用は危険がある。
    - ・ハンダも火傷の危険性がある。別のイベントで火傷した事例が話された。
    - ・多少のリスクを冒しても危険に対する感性を育てる必要あるのでは。

### ○工作テーマ

- ・ 作るものをシンプルにして、自分で工夫できる様なものが子供には好ましい。

### 3) 環境教育活動ボランティアについて

- ・ 環境教育活性化のために、もっとボランティアの応援が数量共に必要。
- ・ 潜在的な環境ボランティアは多いので、希望者を活動に引き込みたい。
- ・ 「宇部志立大学」の卒業式でボランティア募集のアナウンスをするとよい。
- ・ 工作教室ボランティア養成のためのワークショップ等もおこないたい。
- ・ 今回の指導員の方は、UNCCAの指導者のボランティア要員に登録させてもらい、今後の応援などに依頼させていただく。
- ・ 11月3日宇部まつりでミニソーラーカー工作をおこなうので応援してほしい。



報告を聞く指導員



意見交換の様子